

ゼロカーボンビル評価法の開発と建材・設備カーボン表示の促進に向けて

日 時 2023 年 5 月 15 日(月) 13:30-16:30

開催方法 Zoom によるウェビナー方式

主 催 住宅・建築 SDGs フォーラム
一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS)

共 催 一般社団法人 日本サステナブル建築協会

参加費 無料 定 員 500 名

2050 年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、我が国では建築物省エネ法の改正等による ZEH/ZEB の普及・推進など、建築物運用段階の「オペレーショナルカーボン」削減に向けた取り組みが推進されています。一方、G20 サミットの要請を受けて設置された気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言に沿って、欧米を中心に、建築物の資材製造・施工段階から改修、解体、廃棄段階の「エンボディドカーボン」を削減する取組も始まっており、特に、資材製造・施工段階までの「アップフロントカーボン」を建築規制に取り入れる欧米の国・自治体も出現しています。また、我が国でもプライム市場上場企業の TCFD 提言に沿った情報開示が 2021 年 6 月に実質義務化されたことを契機に、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」(環境省・経産省)に従い、多くの不動産会社が「アップフロントカーボン」の情報開示を始めています。しかし、資材選定や施工法などの脱炭素化努力が適切に評価されないなどの課題があり、不動産業界では「アップフロントカーボン」の新たな算定法が検討されています。以上のような背景から、産官学の連携によって、BIM の活用など DX への貢献も視野に入れつつ、国際社会・次世代に通用する質の高い建築ストックの確保に向けたゼロカーボンビルの評価法を開発し、LCCO₂ を実質ゼロにする建築物を普及・推進することを目的として、「ゼロカーボンビル推進会議」が 2022 年 12 月に(一財)住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS)内に設置されました。本シンポジウムでは、同会議の国内外の最新調査成果を報告し、今後の取り組み課題について議論します。

■プログラム ※今後変更することがあります

全体司会：長崎 卓氏 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター 専務理事

主旨説明 13:30~13:50 (20分)

村上 周三氏 ゼロカーボンビル推進会議委員長／一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター 理事長

基調報告 13:50~15:00 (50分+20分)

1. エンボディドカーボンを巡る国内外の最新動向

伊香賀俊治氏 エンボディドカーボン評価 WG 主査／慶應義塾大学教授

2. 不動産協会「建設時 GHG 排出量算出マニュアル」の検討状況

山本 有氏 (一社)不動産協会環境委員会副委員長／三井不動産(株)サステナビリティ推進部長

パ
ネ
ル
デ
ィ
ス
カ
ッ
シ
ョ
ン

15:10~16:25 (75分) パネルディスカッション司会：伊香賀俊治(前出)

ゼロカーボンビル(LCCO₂ ネットゼロ)評価法の開発と建材・設備のカーボン表示の促進に向けて

今村 敬氏 国土交通省住宅局参事官(建築企画担当)

村上 周三氏 前出

山本 有氏 前出

伊藤 明子氏 ゼロカーボンビル推進会議委員／(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター顧問

堀江 隆一氏 ゼロカーボンビル推進会議委員／CSRデザイン環境投資顧問(株)代表取締役社長

閉会挨拶 16:25~16:30 (5分) 坊垣 和明氏 東京都市大学 名誉教授

お申込み 下記 URL よりお申し込み下さい。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_5a_-QOghRb6TtFrpNWSAtQ

問合せ先

一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS) 住宅・建築 SDGs フォーラム事務局
電話:03-5213-4191 (平日 10:00~17:00)
メールアドレス: sdgsforum@ibecs.or.jp